真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年5月1日

事務事業名	まちかど美術館運営事業	担当課・係	教育委員会　文化課　文化振興係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	7　文化芸術の振興と文化財の保護・継承		

	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
成果指標	美術館入館者数	人	2,458					

事業内容

元直井ビル2階・3階を利用し、美術作品を展示している。常設展示室（2階）では、久保コレクションや認定まちかどの作品を展示し、市民ギャラリー（3階）では市内外の個人、団体へ無料で貸し出している。
ギャラリートークツアー、等様々な取組により周知され市民ギャラリー利用者は増えている。
1階まちなか保健室と連携し、ワークショップ+美術館鑑賞事業も実施している。

前年度の課題（Check）

利用案内の周知をはかり、市民ギャラリー利用回数の増加に繋げる。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・常設展示室の管理運営（企画展年間　回）
・市民ギャラリーの貸し出し・運営・利用者への助言
・認定まちかど美術館との連携した収蔵品展
・ギャラリートークツアー（観光コンシェルジュ街歩きツアーと共同実施）

【2】結果と課題（Check）
市民が気軽に美術品を鑑賞できる施設として入館者数の増加に取り組む。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
他の美術館との作品貸借、回遊性を高めるギャラリートークツアー、観光協会、まちなか保健室などと連携して入館者数増加を図る。

(2) 長期的な計画で検討すること
建物の構造上制約があるが、防犯対策の検討が必要